

もとたての輪

つないでいく地域のこれから その6



色彩豊かでおしゃれな
パッチワーク
自信作の小物入れには
カメラを入れました

トランプ大統領をイメージした
くすりと笑える作品も！
華やかな花のバッグはお友達に
プレゼントされるもの



今回お話を伺った堀順子さんは、うらやまほなみで長年ボランティアしていただいた方です。安田に生まれ、二十三歳のときに本楯に嫁いできました。長年熱心に行っているのが、パッチワークや編み物といった手芸です。

ものを大切にすること



500枚もの布を縫い合わせた超大作
なんとステッチも手縫いとのこと！

順子さんの作品には、ある思いが隠されていました。それは、『ものを大切にする』という心です。手芸に使用した布や毛糸は何十年も前に購入したものやサンプルとしていただいた端切れ、思い出深い服や手ぬぐいなど多岐にわたります。

どの布を貼り合わせるか、持ち手はどのようなデザインにしようか、日々アイディアを膨らませ、同じく手芸を行う仲の良い旦那さんとともに新たな作品を生み出しています。

堀 順子さん
出来立てのレースのスカーフ
をまとうてパチリ！

ります。大切に、状態よく保存していたものを余すことなく利用し、別のものとして生まれ変わらせています。物心がついたときには何もなかった戦後の時代に育った順子さん。父親から『捨てるものでも三年取っておけば為になる』『一度やり始めたのなら年内に完成させなさい』と教えられ、それを実践し続けてきました。大量生産・大量消費が当たり前になってしまっている昨今、疎かになりがちな『一つのものを長く大切に使う』ということを今一度思い返してほしいというのが順子さんの願いです。



涼しげなシアーカーテン

居間にあるお気に入り

シリーズ「ふるさと」

その197 人類の未来は？

街を歩くと身長が高く、頭が異常に小さい若者に出会う。昔は、短い脚は起伏のある日本の土地に適した「進化した脚」だと称賛されていた。しかし、現代の若者の脚はグングン伸び「長く細い脚」へと退化（？）しているようだ。山地の凸凹道は車に乗り、都会のアスファルトの平地を歩く時代になったからだろう。



原人の脳の容量は約800ccだったが、高度な文明社会を生きる現代人の脳は約1450ccもある。社会の進歩に応じて頭は巨大化し、記憶容量を増やすように進化してきた。図は10万年後の人の顔である。脳は異常に膨らみ目はこぼれ落ちそうである。こ

れも知識量や情報量に対応した変化と思うが、あまり使わなくなった脚は貧弱になつていくだろう。脳は無駄を省き内部機能を整理しながら進化するため、頭の

小さい人が出現するようになったのかも知れない。昔は「大きい頭は優秀だ」と言われていたが、現代人の頭は小さくなっているように見える。近い将来、生命科学の進歩によって「鼻の高い子、瞳が青い子、頭の良い子・」などの、親の要望に応じて自由に産める時代になるらしい。これを嬉しいと思うか、悲しいと感じるかによって、人類の未来が決まるように思える・・・。

(庄内 平也)

所内を彩る花たち



学術集会！ 糖尿病について 学んできました！



ホットニュース

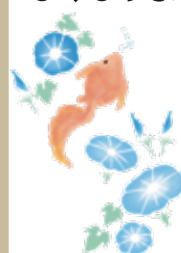
防災訓練



有事に備えて
確認しました



令和6年12月2日より
従来の保険証の新規発行が行われ
なくなりました。



マイナ保険証での資格確認に
ご協力をお願いいたします！

芸術の秋開幕

矢島 恭一

9月に入ると、急に「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」「行楽の秋」などという言葉を目にするようになり、朝夕の涼風、虫の音が季節の移ろいを実感させてくれるのですが、果たして今年はその通りになるでしょうか？

梅雨入りも梅雨明けもはっきりしないまま夏になり、これまで経験したことのないような猛暑が続き、全国で水不足だったり、農作物、海産物の収穫も異例づくめだという報道が毎日なされております。

今月は芸術の秋に関する話題を二つ書きたいと思います。

9月に入ると、今年は最初の日曜日に、酒田市民芸術祭の開幕式典及び公演が開催されます。私は芸術文化協会の副会長を仰せつかっております関係上、準備の段階から忙しい日々が続いております。

とくに今年の公演の目玉が、スワンバレー・スタジオと酒田フィルハーモニー管弦楽団（以下酒フィル）の共演で、チャイコフスキーのバレエ音楽『白鳥の湖』を舞台上演することになっています。酒フィルでは、以前トヨタ自動車がお金を出してくれて、ゲストに草薙民代さんを迎えて舞台上演をしたことがあります。この時は、旧市民会館で横に長い舞台を

三角形に仕切った中に酒フィルが入り、残りのスペースで踊ってもらうという変則的な形の上演でした。

今回は、オペラと同じように、市民会館のオーケストラピットを使い（実は、旧市民会館にもあったのですが）、オーケストラがその中に入り、舞台上でバレリーナが演じるという本格的な上演です。

私がシナリオを作り、当日は舞台監督の予定でしたが、酒フィルで団員が足りないのと、予算がないという裏事情で、私もピットに入り演奏することになりました。



8月初めに、本番形式による練習を行いました。ピットはかなり狭いし、客席からはほとんど見えません。（見えたからといってどうってこともないのですが、2階席に座ると辛うじてピットの中が見えます。）プログラムの関係で、抜粋して上演します。約35分の上演時間です。次は映画の話題です。私は映画が嫌いというわけではないのですが、2時間前後の映画を鑑賞する時間が取れないので、映画館に行って観ることはあまりありません。テレビで

観ることもほとんどありません。そのことを断っておいて、最近感動した映画を観る機会がありました。

診療所のお隣がご実家の佐々木亜希子さんは、活弁士として有名ですが、最近バリアフリー上映の仕事にも関わっておられます。

私にとってバリアフリー上映会ということ自体が耳慣れない言葉だったので、8月中旬の日曜日、会場のひらたタウンセンターシアターOZに行ってみました。

今回上映された映画は、『シエアの法則』という岩瀬順子脚本、久万真路監督、小野武彦主演による約2時間弱の映画で、様々な過去をもつ同居人が繰り出すシエアハウスでの疑似家族の物語でした。

視聴覚に問題のある人でも映画を鑑賞できるようにと考え出された手法で、聴覚に問題ある人にとっては、会話を字幕にしたり、視覚障害者には、台詞のない場面や動作に、佐々木亜希子さんがナレーションで説明します。ひらたではなかったのですが、これに手話をつけることもあるようです。

宮崎美子さん演じるシエアハウスの管理人と、その夫役の小野武彦さんの夫婦の機微を描く映画の内容も感涙ものでしたが、障害者を対象とする介護や福祉に携わる者にとって、ここまで手を加えることによって、多様性を認め合う社会の整備が進んでいることに、より心を打たれて帰ってきました。



「おおきいスイカで
スイカわりをしたよ」



「かぞくみんなでおおきいはなびをみたよ」

こどもたちの
さくひん

本楯保育園

▶ 今年もキャンプ三昧！

▶ そして、カモシカも常連さんで顔を出してくれました。



vestagram



介護支援専門員
鈴木 きみ



職員が撮ったお気に入りをご紹介します★

富山市在住の土田芳男さん（百歳）より届いた絵手紙をご紹介します。



絵
手
紙

今
月
の

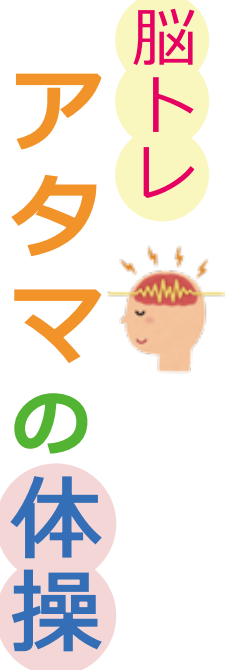
答えは
来月号です♪



8月号の答え 夏

- ① 秋分の日（ ）月
- ② 敬老の日（ ）月

漢字の読みを答えてください。また、何月の祝日でしょうか。



編集後記
順子さんへのインタビューで、まだ使えるのではないかと一度立ち止まって考えることの大切さがい出されるようでした。再利用する上で、センス良くまとめる技術に感服してばかり……そんなお時間でした。
（平井）

発熱・風邪症状（のどの痛み・鼻水・咳等）がある方は受診する前に必ずお電話でご相談ください。
電話をせずに来所してしまつた方は診療所内には入らず、駐車場から一度お電話していただき、当方からの指示に従ってくださいますようお願いいたします。

お知らせ

先日ぎっくり腰になり、出勤したものの思うように動けないところ、笑顔で手助けしてくれたスタッフのあたたかな対応と心遣いに感謝です。
（才代）

